

2016春闘学習会

国労水戸

国労水戸地方本部
 水戸市中央1-1-11
 ENYビル2F
 029-221-4008
 発行責任者 塚原良雄
 編集責任者 坂下 司

差別する評価制度

3月9日、自治労茨城県本部の千歳益彦氏を講師に迎え、公務員職場の給与制度、実態や課題について、春闘学習会を開催しました。

公務員改革として、新たな人事評価制度が、今年4月から全ての職場で実施される。

労水戸2016春闘学



業務遂行の能力、目標を定めて業務評価を点数にし、6段階評価でプラス・マイナスの査定をおこなっています。

自治労として評価を公平公正に行うこと。

評価する人により差がつく。ある業務によっては目標管理がない。評価する上司が部下の業務を理解していないなどの問題点があります。

知的障害を持つ職員だけが最低の評価であり、賃金もあがらない。本人、回りの仲間は仕事が出来ないかとアキラメがあるが、組合として労働者が生活出来る賃金を保障させる取り組みを行っています。

臨時・非正規職員が年々拡大している。雇用は5年で終わり。自治労は臨時・非正規職員の組織化、雇用年限の撤廃や休暇制度の見直しを行っている。

労働組合として格差は許さないと運動を行っている。直しを行っている。

第171回拡大地方委員会 書記長集約

①組織強化の拡大

最重要課題であり次期大会まで10%の目標に拡大を行う。関連労働者JESSの組織化を、班分会がどう動かししていくのか。分会での創意工夫を行う。本体との意見交換、掲示板の要求実現、36協定代表取り組みを行い、働くものの代表として強めてきた。拡大の運動は進んでいる。確信と自信を持ち国労加入へと実践して行く。今までと違った好機をつくり出そう。

②反合理化安全安定輸送の確立

行路問題、乗務員の配置換え、関連会社についても要求を行っていく。雇用の確保から出向先の要望を集約体制を作る。エルダー制度について、希望職場がないので乗れない事から行けない。面談内容から要求にし職場総点検運動を討論し組織活性化 改善に努力したい。

震災対策として現場の不安の声を職場から作る。

③原発について

復旧工事が行われているが除染汚染水漏れで収束どころでない、進展していない。将来への不安から原発の無い社会、国労ふくしま交流会の継続、反原発・脱原発に取り組み。

④2016年春闘

春闘学習会の開催、JR貨物においてFAX署名行動、現場長交渉 学習会の強化 選挙勝利 消費税増税反対、派遣法反対、TPP憲法改悪 阻止、原発再稼働反対、全組合員が取り組むこととします。

